

中原市長の施政方針に

会派代表者が問う！

◆市長の施政方針◆

【四つの重点テーマ】

- ▼市民の安全・安心を高める
- ▼子どもの笑顔で満たされたまちをつくる
- ▼まちの価値を高める
- ▼まちの住みよさを高める

「生命を守る」を最優先に、そして「生活を支える」「地域経済を後押しする」を重要事項として、多くの皆さまからのご意見を踏まえ、国や県などの関係団体との連携の中で、状況に応じた適切なコロナ対策をスピード感をもって行ってまいります。

自由民主党

吉川市議員団

松崎 誠



問 ①市民の安全安心を高めるのうち、第一排水区の治水対策は②少年センターのうち、名称を適応指導教室から教育支援センターに変更、相談員・補導員1名増員の内容等は③東埼玉テクノポリス拡張について優先順位を変更した経緯は④三輪野江地区の農業拠点エリアは、市の課題としてどのような地域であると考えられているのか⑤吉川駅北口駅前ロータリー改修の具体的イメージは⑥総合運動公園整備を断念して分散型に変更するのか⑦旧庁舎の活用と今後のスケジュールは。

答 ①管渠を含む洗い出しや、中川への排水量変更の協議を進めていく②義務教育までではなく、当市で育った全ての子どもたちの未来を支えていきたい③テクノポリスの拡張については、三輪野江地区の白地の整備を計画的に進捗させなければ農林調整を進めることは非常に困難であることから、優先順位の変更をした④都市近郊農業を確立するため必要なエリアと認識⑤歩道のバリアフリー化や車両の混雑緩和を図っていく⑥機能充実を求める市民ニーズを踏まえ、市有地や関係団体所有地を分散型で整備していく⑦福祉に関連する周辺地域の皆様に対象にアンケート調査を実施し、この結果を参考に基本構想を策定していく。

日本共産党

吉川市議員団

雪田きよみ



問 コロナ対策として、県は社会福祉施設と医療機関の職員及び新規入院・入所者にPCR検査を実施するとした。在宅療養者への視点がなく、不十分。市の施策は。

答 生活保護は権利、ためらわずに相談をとのアピールを強化するべきと考える。
問 社会福祉協議会と連携し、丁寧な相談体制を構築したことが一因。今後丁寧に進めていきたい。
問 昨年12月、朝日新聞社会面で草加保健所の厳しい現状が大きく報道された。厚労省の調査で、2018年末現在人口10万人あたりの保健師

市民の会

・無所属

稲垣 茂行



問 この1年間の総括と市の現状と課題は。
答 これまで、PCR検査センターの設置をはじめ一人親世帯への一時金、雇用・事業継続支援、プレミア

答 接種会場を確保しコールセンターと予約システムを整備。必要な人員・物品の確保等を進めている。接種率の向上は、メリットとデメリットを正しく市民へ伝えていくこと。医師会からは、「全面的に協力する」との言葉を頂いている。
問 コロナ後の社会変化に対応した「まちづくり」の考え方は。
答 第6次総合振興計画では、新た